

# 南方熊楠翁生誕 150 周年記念 2017 南方熊楠研究会例会

## シンポジウム「『田辺拔書』をどう読むか」・応募発表

「田辺拔書」は、ロンドンから帰国した熊楠が、かの地での「ロンドン拔書」同様に、閲覧した図書を罫紙綴じノートに書き写したもの。1907 年（熊楠 40 歳）から 1934 年（67 歳）までに書き写された 61 冊が現存する。これまで書抜資料の明細などじゅうぶんに整理されてこなかったが、現在ようやく全貌が見えつつある。これとは別に、今般、鬮雞神社蔵書の和漢書現蔵目録がほぼ完成したことにあわせ、両者をつき合わせつつ、田辺の地での熊楠の読書活動の実態に迫ろうとする試みである。

### ②シンポジウム「『田辺拔書』をどう読むか」

13:30-13:35 開催趣旨説明

司会：千本英史（奈良女子大学教授）

13:35-14:30 報告 1

伊藤 慎吾（国際日本文化研究センター客員准教授）

岸本 昌也（武蔵大学非常勤講師）

志村 真幸（京都外国語大学非常勤講師）

杉山 和也（青山学院大学大学院博士後期課程）

田村 義也（成城大学非常勤講師）

広川 英一郎（私立高校教諭）

目黒 将史（立教大学兼任講師）

※(各 5 分 × 7 名) + 相互討議 (20 分)

14:30-14:50 (20 分間休憩)

※鬮雞神社、田辺拔書関連資料展観

担当：平川 恵美子（四国大学非常勤講師）

辻 晶子（奈良女子大学博士後期課程）

14:50-15:15 報告 2

「田辺拔書と今昔物語集」（仮題）

小峯 和明（立教大学名誉教授）

15:15-15:30 質疑 (15 分)

### ①応募発表（自由論題 I）

10:00-12:00

・「熊楠の志怪書及びその読み方について」

司 志武（広州・暨南大学准教授）

・「南方熊楠と中国文学

—『水滸伝』『金瓶梅』『紅樓夢』の解説を通して—

劉 運涛（龍谷大学）

・「南方熊楠と本山桂川の交友関係」

三村 宜敬（市川市立市川歴史博物館）

・海外メディアが見た南方熊楠

サライ・ペーテル（大阪大学日本語日本文化教育センター  
特任助教）

### ③応募発表（自由論題 II）

15:45-17:15

・「南方曼荼羅論再考」

大和 茂之（京都大学瀬戸臨海実験所助教）

・「南方熊楠の創造性と時代背景

—南方曼荼羅を中心として—

雲藤 等（早稲田大学エクステンションセンター講師）

・「南方熊楠の学問の方法—J.S.Mill の *A System of Logic ratiocinative and inductive* から学んだこと—

嶋本 隆光（大谷大学非常勤講師）

日 時：平成 29 年 8 月 5 日（土）

10:00 ~ 17:15（開場 9:30）

会 場：田辺市文化交流センター

たなべる 2 階 大会議室

定 員：100 名 申込不要、参加費無料

興味のあるプログラムだけの聴講も可能です。

※時間は目安です。進行上の都合により前後する場合がありますので、ご了承ください。

## 南方熊楠顕彰館

MINAKATA KUMAGUSU ARCHIVES

〒646-0035

和歌山県田辺市中屋敷町 36 番地

TEL : 0739-26-9909

FAX : 0739-26-9913

E-mail : minakata@mb.aikis.or.jp

URL : <http://www.minakata.org>

